

身近な地域で学べる環境を

予算 11億577万円

特別支援教育の環境を充実させます

平成30年度に高等部の未整備地域を解消します

県では、県内全ての地域に特別支援学校を設置しましたが、このうち、沼田、藤岡、富岡、吾妻地域には高等部がありません。

障害のある子どもたちも身近な地域で安心して教育を受けられるようにするため、これらの地域で、平成30年度から高等部の生徒を受け入れられるよう準備を進めます。

伊勢崎特別支援学校で重複障害児を受け入れます

今年度から伊勢崎特別支援学校では、看護師を配置して、知的と肢体不自由の重複障害のある児童・生徒の受け入れを始めました。

また、平成30年度から重複障害のある生徒を太田高等特別支援学校と伊勢崎高等特別支援学校でも受け入れられるよう準備を進めます。

二葉・二葉高等特別支援学校にスクールバスを導入します

障害のある児童・生徒や保護者の通学負担を減らすため、二葉・二葉高等特別支援学校でスクールバスを5台導入します。校内から車いすで直接乗り降りできるバス乗り場の整備や、スクールバスに特殊な改造を行うため、平成30年度から順次運行となる予定です。



「自立活動」授業
(館林高等特別支援学校)



地域の中核となる高校へ

新高校設置の準備を進めます

予算 15億1,924万円

富岡・甘楽地区

富岡高校 (男子校)

富岡東高校 (女子校)

新高校

富岡高校
(共学)

吾妻地区

中之条高校 (共学)

吾妻高校 (女子校)

新高校

吾妻中央高校
(共学)

両地区では、平成30年度の新高校開校に向けて、校舎の改修や新築を行います。

高校再編については、前号の教育ぐんまで特集をしました。県ホームページでご覧になれます。



心のケアのために

スクールカウンセラーの配置を拡充します

予算 2億8,686万円

不登校やいじめなどの問題や子どもたちの抱える心の問題に対応するため、スクールカウンセラーを県内全公立学校へ引き続き配置します。

また、今年度から県立高校の定時制・通信制課程への配置を拡充し、相談体制を充実させます。

スクールカウンセラーにはこんな相談が・・・

保護者との面談では、不登校に関わることや子育て、子どもの発育に関する相談が多いです。

また、児童・生徒との面談では、交友関係や学習、部活動などの不安や悩みについての相談が多いです。



県全体での取り組み

予算 2,892万円

子どもの貧困対策・居場所づくり

子どもたちが生まれ育った環境に左右されず、夢と希望を持って成長していけるよう、子どもの貧困や格差解消に向けて、県全体で取り組みを進めています。

また、放課後子ども教室などの子どもの居場所づくりの充実に取り組みます。



押し花づくり (川場村放課後子ども教室)

放課後子ども教室(20市町村で実施予定)

小学生対象

学校の空き教室などを活用し、学習やさまざまな体験・交流活動の機会を提供します。

中学生対象

地域未来塾(2村で実施予定)

中学生対象

学習が遅れがちな生徒を対象とした学習支援を行います。